

PC-4-Ⅲ-01	<b>薬物動態の解析</b>	第4学年	前期 必修	1単位
<b>担当者</b>	落合 和			
<b>一般目標 (GIO)</b>	薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるために、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	<b>【薬動学】</b> 1. 薬物動態に関わる代表的なパラメーターを説明できる。 2. 線形1-コンパートメントモデルを説明できる。 3. 線形2-コンパートメントモデルを説明できる。 4. 線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。 5. 生物学的半減期を説明できる。 6. 全身クリアランスについて説明できる。 <b>【TDM (Therapeutic Drug Monitoring)】</b> 1. 治療的薬物モニタリング (TDM) の意義を説明できる。 2. TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。 3. 薬物血中濃度の代表的な測定法を説明できる。 4. 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。			
<b>受講心得・準備学習等</b>	薬物動態学やTDMを学ぶことにより、薬物の体内動態を理解し、医薬品の適正使用のための基本的事項を把握するように心がけること。			
<b>事後学習・復習等</b>	教科書および配布プリントをもとに予習および復習を行い、薬物速度論の知識を身につける。さらに、不明な点に関してはオフィスアワーを利用して問題の解決をはかる。			
<b>オフィスアワー</b>	原則講義のある日の16時から18時。また、メールによる質問・相談はいつでも受け付ける。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義を中心に行うが演習も行う
回	項目	内容
1	薬物速度論	薬物速度論概論
2	薬物速度論	薬物速度論的パラメーター
3	薬物速度論	線形1-コンパートメントモデル
4	薬物速度論	線形2-コンパートメントモデルおよび非線形コンパートメントモデル
5	薬物速度論	生物学的半減期および全身クリアランスの意味とその計算法
6	薬物速度論	薬物動態学－薬力学解析 (PK-PD 解析)
7	TDM	TDM 概論
8	TDM	TDMが必要とされる代表的な薬物 (1)
9	TDM	TDMが必要とされる代表的な薬物 (2)
10	TDM	薬物血中濃度の代表的な測定法
11	TDM	至適血中濃度を維持するための投与計画 (1)
12	TDM	至適血中濃度を維持するための投与計画 (2)

<b>成績評価の方法</b>	学期末に行われる試験で60%以上を合格とするが、必要な場合は課題レポート等の提出によって成績を評価する。
<b>成績評価の基準</b>	学期末の試験結果およびレポート（必要に応じて）の合計点が原則60パーセント以上を合格とする。
<b>教科書</b>	「エピソード薬物動態学」（京都廣川書店）「薬物動態学演習書」（京都廣川書店）
<b>参考書など</b>	